



ホッと

『来て・観て・住んで・あったか“とちぎ”』

【栃木市総合計画 改訂版】

基本構想 平成 25 年度▶平成 34 年度

基本計画 平成 25 年度▶平成 29 年度

《概要版》



I 基本構想

将来都市像

本市のまちづくりの基本姿勢として、住民アンケート調査の結果を踏まえながら、基本構想の「将来都市像」を以下のとおり設定し、市民と行政が一体となってまちづくりに取り組んでいくための目標として共有していきます。

■基本構想 将来都市像

“自然” “歴史” “文化” が息づき “みんな” が笑顔のあったか 栃木市

将来都市像のイメージ

“自然” “歴史” “文化” が息づき とは

- 郊外に広がる水・緑の眩しい自然のなかで、多くの人々がアウトドアスポーツや観光を楽しみ、豊かな田園が市民の心や食を潤しています。
- 市内にはしっとりとした蔵の街並みがたたずみ、この地に縁のある先人たちが残した貴重な文化財が大切に受け継がれ、祭りになれば豪華絢爛な山車が街なかを練り歩きます。

“みんな” が笑顔のあったか 栃木市 とは

- “自然” “歴史” “文化” をはじめとする魅力的な資源が、地域のおもてなしの心とともに静かに来訪者を迎え楽しませています。
- 産業団地では力強いつち音や機械の音が響き、物や情報が活発に往来するなかで、多くの市民や企業が生き活きと生産活動に従事しています。
- 市民の誰もが快適な住環境のなかで豊かな市民サービスを楽しみ、栃木市に住んで良かったと大きな満足感を覚えています。

この基本構想が市民にとってより身近に感じられ、親しみのもてるものとなるよう、基本構想の「将来都市像」を分かり易く言い表し、市民が口ずさむことのできる合言葉として基本構想の「キャッチフレーズ」を設定します。

■基本構想 キャッチフレーズ

ホッと

『来て・観て・住んで・あったか “とちぎ”』

栃木市に住んでいる人たちはもちろん、栃木市に来て学ぶ人や働く人、観光で訪れる人たちみんなが、心しみ、安らぎを感じながら、生き活きと暮らし、様々に活動することのできる、自然に満ちた快適で居心地のよいまちづくりを目指していくことを表現するものです。

都市の骨格

(1) 土地利用構想

将来の都市の姿を形作る土地利用構想を次のとおり定めます。

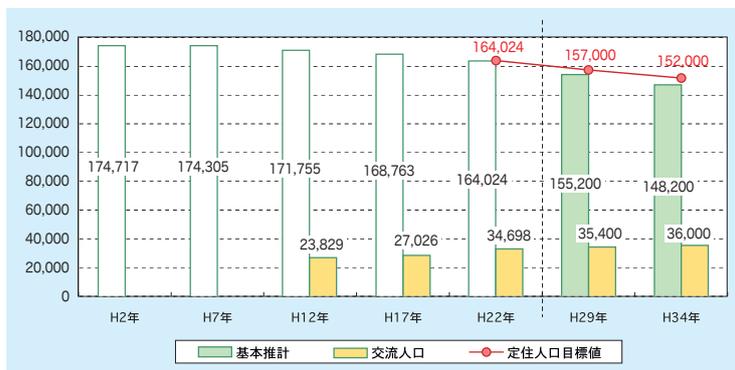


(2) 人口の見通し

将来人口については、本市に暮らし、訪れる人達を「まちづくり人口」と捉え、生活基盤整備などの面で重要な指標となる「定住人口」と、活力や賑わいの目安となる「交流人口」の目標値を設定します。

まちづくり人口の目標値……【定住人口】 152,000人
 (平成34年) 【交流人口】 36,000人(一日当たり)

栃木市の人口の見通しと目標



●定住人口の予測：基本推計

…国勢調査人口（平成22年）を基準に
 コーホート要因法を用いて推計

●定住人口の目標値

…街なかへの定住促進、生活環境の充実、企業誘致による産業の活性化、子育て支援の充実等の推進により人口減少を緩和

●交流人口(一日当たり)の目標値

…本市を訪れ、働き、学ぶ人を交流人口と位置づけ、観光施策の充実、雇用の場の創出、教育環境の充実等により順調な増加傾向を維持

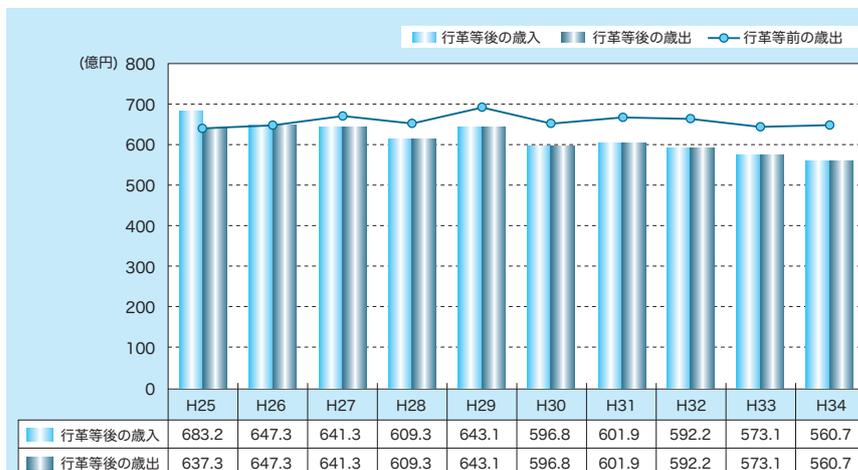
(3) 財政の見通し

現行の行財政制度に基づき、総合計画に掲げる主な事業を反映した財政運営が継続されるものと仮定し、今後10年間の歳入・歳出を推計すると、歳出が歳入を上回る厳しい財政運営が続くことが見込まれます。

こうした厳しい財政状況のなか、将来にわたり持続可能な行財政運営を推進していくため、総合計画体系・行政改革大綱・行政評価システム・予算配分を連動させる新たな仕組みを取り入れ、効果的・効率的な事業実施や予算編成に努め、収支均衡型の財政運営を図っていきます。

栃木市の財政の見通し

(資料：財政課推計)



※平成25年度については旧岩舟町、旧栃木地区広域行政事務組合を含む決算額 (一般会計の当初予算)

●財政の見通し

…歳入・歳出の項目ごとに、本市の将来人口や今後の事業などを勘案し、平成25年度から平成34年度までの財政見通しについて一般会計を推計したもの

[折れ線グラフ]

…行政改革などを実施する前の歳出における財政推計

[棒グラフ]

…行政改革などを実施した後の歳入・歳出における財政推計

3つの姿

栃木市の一体化や特色づくりに向けた大切な取り組みとして、地域間格差のないサービスの提供や、各地域の特性を活かした環境づくりを両立して進めるとともに、行政と市民の協働体制の確立を図り、将来都市像の実現につなげるための“3つの姿”を設定します。

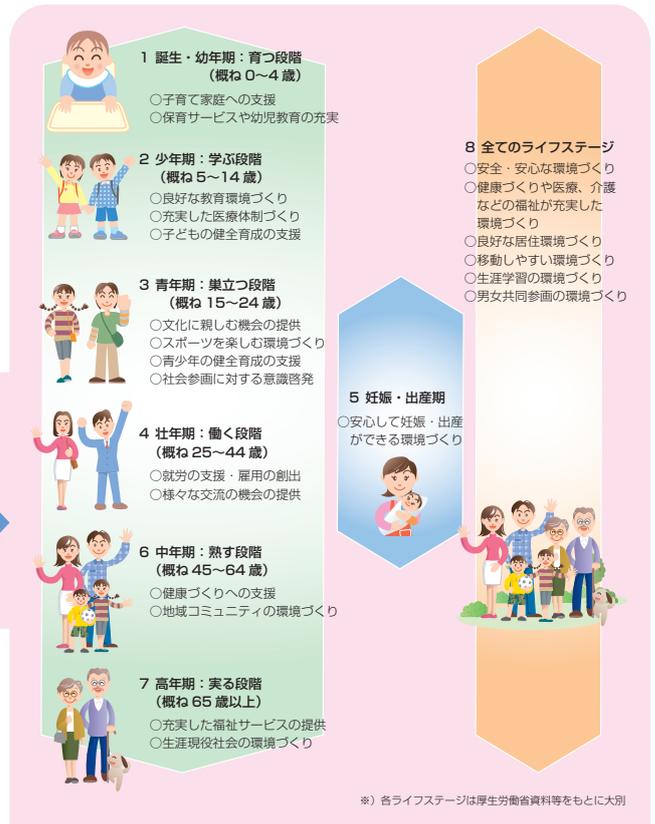
1 市民生活の姿

栃木市に暮らす人の誰もが、生活のライフステージに応じた、平等なサービスを楽しむことのできる環境の実現を目指します。



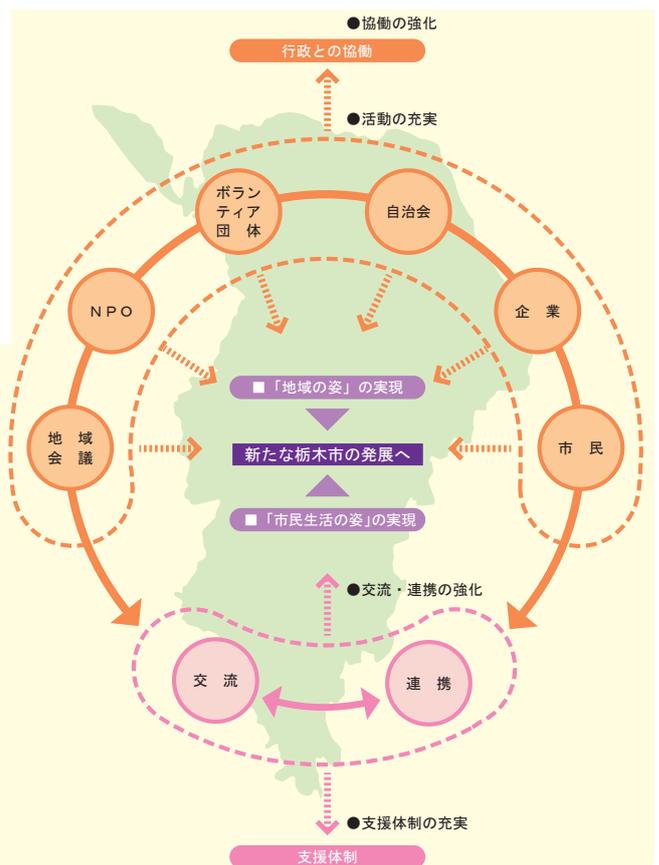
3 市民活躍の姿

「まちづくりは人づくり」という考え方に基づいた人材の育成を図るとともに、個々の市民や団体のそれぞれの活躍の場・活躍のステージの充実に努めます。



2 地域の姿

合併後の栃木市において、各地域それぞれの個性や住民の思いを尊重し、地域の資源を活かした特色あるまちづくりを展開します。



栃木市のまちづくりの体系

(1) 7つの基本方針

栃木市、西方町合併時に策定した「新市まちづくり計画」におけるまちづくりの基本方針を踏まえ、住民アンケート調査結果による施策の重要度等や、まちづくりにおける課題、現行の組織機構とのバランス等を考慮し、総合計画における7つの基本方針を次のとおり設定します。

- 基本方針Ⅰ かけがえのない自然に優しいまちづくり
- 基本方針Ⅱ 心地よく暮らせるまちづくり
- 基本方針Ⅲ 安全安心で快適に暮らせるまちづくり
- 基本方針Ⅳ 健康で生きがいを持てるまちづくり
- 基本方針Ⅴ 健やかに人を育み学び続けられるまちづくり
- 基本方針Ⅵ いきいきと働き賑わいのあるまちづくり
- 基本方針Ⅶ 共に考え共に築き上げるまちづくり

(2) 組織横断の3つのプロジェクト

従来どおりの縦割りの手法による対応では難しく、横断的な体制により取り組むことが求められる施策を本市のまちづくりの主要プロジェクトとして位置づけ、全庁的な合意のもと、優先的かつ重点的に、積極的な推進を図るものとします。

1 「いのち」に関する施策をまとめた横断的プロジェクト



まちづくりのキーワードである「安全・安心」「優しさ・生きがい」の視点から、「いのち」をテーマに設定し、関連する一連の施策をプロジェクトに位置づけます。

[プロジェクトに関連する単位施策]

- 防災・危機管理の強化
- 消防・救急体制の充実
- 防犯・交通安全対策の充実
- 地域医療の充実
- 救急医療体制の充実
- 総合的な福祉サービス提供体制の構築 等

2 「ちから」に関する施策をまとめた横断的プロジェクト



まちづくりのキーワードである「豊か・活力」「暮らし・住環境」「循環型社会」の視点から、「ちから」をテーマに設定し、関連する一連の施策をプロジェクトに位置づけます。

[プロジェクトに関連する単位施策]

- 都市基盤の充実 ●公共交通体系の充実
- 農業経営基盤の充実 ●商業の振興
- 工業の振興 ●企業誘致の推進
- 新エネルギーの推進 等

3 「たから」に関する施策をまとめた横断的プロジェクト



まちづくりのキーワードである「人づくり・健やか」「美しさ」「調和・創造」の視点から、「たから」をテーマに設定し、関連する一連の施策をプロジェクトに位置づけます。

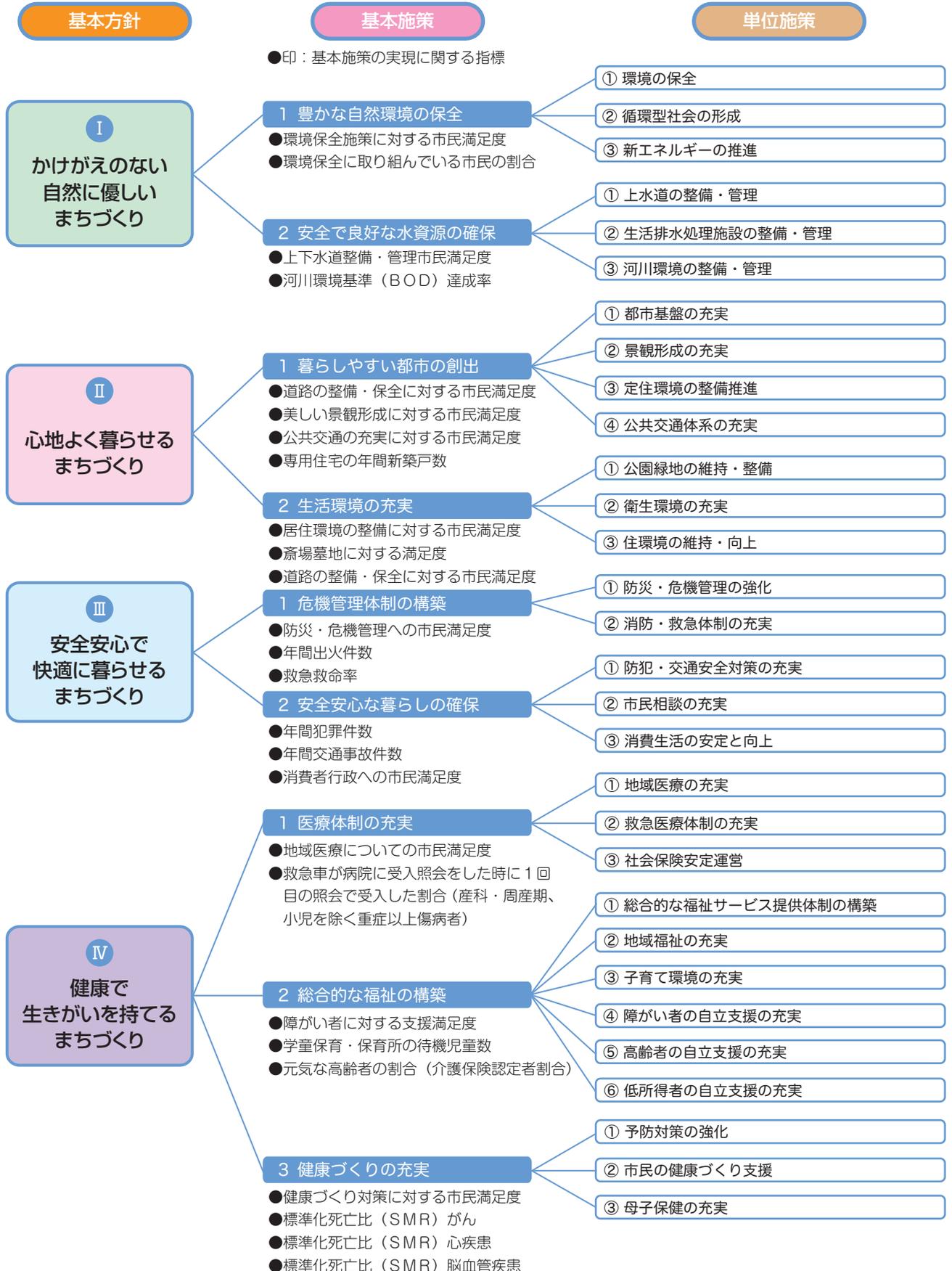
[プロジェクトに関連する単位施策]

- 景観形成の充実 ●子育て環境の充実
- 生涯学習環境の充実 ●スポーツ環境の充実
- 文化芸術活動の推進
- 魅力ある観光交流・レクリエーション拠点の形成 等

II 基本計画

施策の体系

基本構想の実現に向けた具体的な施策（基本施策・単位施策）を体系的にまとめ、前期5年間（平成25年度から平成29年度）を計画期間とする「基本計画」を策定します。



基本方針

基本施策

単位施策

●印：基本施策の実現に関する指標

V
健やかに人を育み
学び続けられる
まちづくり

- 1 学校教育の充実
 - 保護者の学校教育に対する満足度
- 2 生涯学習の充実
 - 社会教育施設利用者満足度
 - 各種学級・講座受講者満足度
- 3 スポーツの推進
 - スポーツ施設への市民満足度
 - スポーツ大会・教室への市民満足度
- 4 文化の振興
 - 文化芸術活動等の参加者満足度
 - 文化財保有・伝承者の満足度

- ① 確かな学力の育成
- ② 豊かな心及び健やかな体の育成
- ③ 魅力ある教育環境の充実
- ④ 一貫性のある教育の充実
- ① 生涯学習環境の充実
- ② 生涯学習機会の充実
- ① スポーツ環境の充実
- ② 生涯スポーツの推進
- ① 文化芸術活動の推進
- ② 歴史文化の保護と活用

VI
いきいきと働き
賑わいのある
まちづくり

- 1 農林業の振興
 - 認定農業者数
- 2 商工業の振興
 - 市内商工業の総売上高
- 3 観光レクリエーションの振興
 - 観光客入込数
- 4 雇用の創出
 - 企業誘致による新規雇用者数
- 5 多様な地域間交流の充実
 - 地域間や国内外の人との交流が増えていると感じる市民の割合

- ① 農業経営基盤の充実
- ② 特色ある農林業の展開
- ① 商業の振興
- ② 工業の振興
- ① 魅力ある観光交流・レクリエーション拠点の形成
- ② 観光ネットワークの形成
- ③ 新たな付加価値の創造
- ① 企業誘致の推進
- ② 新産業創出の推進
- ③ 多様な雇用環境の創出
- ① 国内・国際交流の推進
- ② 全市の交流イベント開催の推進

VII
共に考え
共に築き上げる
まちづくり

- 1 市民と行政の協働と
情報共有化の推進
 - 住民参加の満足度
 - 行政情報の満足度
- 2 基本的人権の尊重
 - 人権が守られていると感じている人の割合
 - 審議会等への女性委員の登用率
- 3 行財政運営の充実
 - 行政施策の満足度
 - 窓口サービスの満足度

- ① 地域自治の仕組みづくり
- ② 身近なまちづくりの推進
- ③ 市民活動の推進
- ④ 市民参画の充実
- ⑤ 情報共有化の推進
- ① 人権の尊重
- ② 男女共同参画の推進
- ① 行財政基盤の強化
- ② 市民サービスの提供体制の充実